

Contrast EOP 導入ガイド

はじめに

本書では、Contrast エンタープライズオンプレミス(EOP)版のインストールを開始する前に、Contrast EOP を導入するための要件について説明します。ご利用の環境で、Contrast EOP のシステム要件とサイジングの推奨事項を確認してください。

システム要件

システムの構成要素について

Contrast EOP のインストールには、システムを構成するためのコンポーネントがすべて含まれています。これらのコンポーネントには、Tomcat サーブレットコンテナ、MySQL データベースのインスタンス、AdoptOpenJDK Hotspot JVM などがあります。これらのコンポーネントはすべて、インストールバイナリに組み込まれており、Contrast EOP のアーキテクチャの一部として単一のサーバにデプロイされます。

Contrast EOP のシステム要件

Contrast EOP のインストールを開始する前に、ご利用の環境が以下のシステム要件を満たしているか確認してください。

要件	推奨	最低	備考
OS アーキテクチャ	64 ビット	64 ビット	<ul style="list-style-type: none"> メモリの必要条件のため、Contrast アプリケーションは 64 ビットアーキテクチャでのみ実行可能です。
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> CentOS 7 Microsoft Windows Server 2019 Ubuntu 18.04 LTS 	<ul style="list-style-type: none"> CentOS 6 Microsoft Windows Server 2016 Ubuntu 16.04 LTS Microsoft Windows Server 2012 R2 	<ul style="list-style-type: none"> 弊社の CentOS 6 のサポートは、2020 年 12 月 1 日をもって終了します。
Java	11	1.8	<ul style="list-style-type: none"> インストーラに含まれません。
MySQL	5.7.23	5.7	<ul style="list-style-type: none"> インストーラに含まれません。 現在、Contrast (SaaS)は AWS で 5.7.23 を実行しています。MySQL5.7 の別のビルドを使用しても問題が発生することはありませんが、何か問題があった場合は、サポートまでご連絡ください。MySQL バージョン 8 以降は、現在サポートしておりません。

サイジング推奨事項

概要

Contrast EOP は、より多くのコンピューティングリソース(vCPU)やメモリリソースの拡張に重点を置いたスケールアップ型のアーキテクチャで設計されています。Contrast EOP のための CPU とメモリリソースは、接続されているエージェントの数と、Contrast EOP と通信するアプリケーションのトラフィックによって異なります。また、以下の 2 つの要因もパフォーマンスに影響を与えます：

- Contrast EOP で報告されるデータの利用者の Web トラフィック**
 Contrast EOP は高度なトランザクションシステムで、リアルタイムでデータセットを計算しデータの利用者に返します。より多くのユーザがシステムを利用するほど、より多くのコンピューティングリソースとメモリリソースが必要になります。
- 長期間にわたってアプリケーションに保持される大量のデータ**
 時間の経過に合わせてデータを積極的に削除することも、データを保持することもできます。どのトランザクションシステムでも、クエリの対象となるデータセットが大きくなるほど、コンピューティング要件も大きくなります。

構成オプション

Contrast EOP は、様々な導入シナリオに合わせて、CPU、メモリ、ストレージ容量の組み合わせによる構成が可能です。アプリケーションに適したリソースの組み合わせを柔軟に選択することができ、作業負荷に合わせてリソースを拡張することができます。

以下のガイドラインを参考に、最適なリソースの組み合わせを選択してください。接続されているエージェントの数が多いほど、Contrast EOP が実行中のトレースを処理するためのメモリ要件が大きくなります。ストレージは、トレースデータの寿命とシステム管理者によるログファイルの保存によって異なります。

小規模構成

Contrast EOP と通信するエージェントが 3～30 で、エンドユーザが 5～25 人規模の Web トラフィックを処理する場合に推奨される構成です。エージェントは通常、常に実行され、検出結果が Contrast EOP に送られます。エンドユーザは 1 日に何度もシステムにアクセスし、アラート、レポートや外部ツールと連携された機能などを積極的に使用します。

エージェント数	vCPU 数	クロック数	RAM	ストレージ容量
3 - 30	4 - 8	2.5GHz - 3.3GHz	16GB - 24GB	200GB

大規模構成

Contrast EOP と通信するエージェントが 30～100 以上のより大きな作業負荷や、エンタープライズ規模で展開される大規模な Web トラフィックを想定しています。エージェントは常に実行され、検出結果が Contrast EOP に送られます。エンドユーザは 1 日に何度もシステムにアクセスし、アラート、レポートや外部ツールと連携された機能などを積極的に使用します。

エージェント数	vCPU 数	クロック数	RAM	ストレージ容量
30 - 100 以上	8 - 16	2.5GHz - 3.3GHz	24GB - 48GB	500GB

注： 作業負荷や構成規模に関係なく、Contrast EOP には最低 16GB の RAM が必要です。